

国際関係概論 5

林 光

2007年5月17日 木曜日

0 事務連絡

6/14 は休講 .

要望多数につき今回以降レジュメを配付する予定 .

ネット上 <http://www.geocities.com/hikachu/>

パスワードを求められたら教室番号を入力せよ .

1 前回までの復習

戦争の原因は...

第一イメージ：人間の心

第二イメージ：国内政治体制

第三イメージ：国家間システム (= アナーキー)

古典的リアリズム：人間の本性 権力闘争 BoP

ネオリアリズム：

国家間システムがアナーキー (cf. ハイアラーキー)

survival! (弱肉強食) = like units (×個性)

Balancing (合従) (>) Bandwagoning (連衡)

Balance of Power

防御的リアリズム (ネオリ...の発展形)：

・非協力発生のメカニズムをより精緻化

(セキュリティ・ディレンマ etc.)

・同時に国家間の協力をより楽観視

(SDの二条件, BoPではなく BoT etc.)

新古典派リアリズム (古典的リ...の発展形)：

国家間システムがアナーキー

survival+interest = unlike units (個性)

(現状維持勢力と現状打破勢力とを区別)

Balancing (>) Bandwagoning

安全を超えた利益を求めての大同盟はありがち

2 補足：Balance of Power

Balance：1. 天秤, はかり 2. 釣り合い, 平衡, 均衡

Power：1. 力 2. 権力 3. 強国=列強

“France and Spain are as it were the Scales in the Balance of Europe, and England the Tongue or the Holder of the Balance.”

H. Morgenthau

BoP：多数の自律的単位からなる社会の一般原理

第三者はより弱い方に加わってより強い方を抑制

BoPの二つの仮定：

1 多様性 諸要素は社会にとり必要で価値がある

2 安定性 ×均衡 ある者が優越化し他を破壊

BoPの欠点

1 不確実性 力の測定¹, 誰が友で敵か

2 非現実性 誤算を恐れて「余分」を追求しがち

3 不十分性 価値観の共有が不可欠

I. Claude

均衡過程

全自動：見えざる手

半自動：バランスー

手動：人間の工夫

多極安定論 (K. Deutsch & D. Singer)

双極安定論 (K. Waltz)

単極安定論 (A. F. K. Organski)

¹国力の諸要素=領土, 天然資源, 工業力, 軍備, 人口, 国民性, 国民の士気, 外交の質, 政府の質
しかし疑問も. 例: ベトナム > アメリカ?